

平成 28 年度  
仙台市図書館運営方針  
仙台市図書館事業計画

教育局市民図書館

## 平成 28 年度仙台市図書館運営方針

図書館は、資料の収集・保存・提供を通して、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設であり、「知る権利」や「学ぶ権利」を保障し、生涯学習の機会を提供する施設として重要な役割を果たしている。

近年、少子高齢化、国際化、情報化の急激な進展に伴い、図書館を取り巻く環境は大きく変化し、図書館に対する市民のニーズも多様化してきている。

こうした状況のもと、平成 24 年 3 月にこれからの本市図書館に求められる図書館像、振興方策を盛り込んだ「仙台市図書館振興計画」を策定した。本計画は、平成 24 年度から 28 年度までの 5 年間を計画期間としている。

平成 28 年度は、「仙台市図書館振興計画」の最終年度であり、これまでの事業実施に対する評価を踏まえ、さらなる取り組みを進めるとともに今後の計画を策定する年度となる。具体的な事業計画となる「平成 28 年度仙台市図書館事業計画」に基づき施策を確実に実施していく。

目指す図書館像「地域・市民に役立つ、共に成長を続ける図書館」の実現を図るため、仙台市図書館振興計画における次の 4 つの方向性に基づいた図書館サービスを提供していく。

- 1 地域や市民に役立つ図書館
- 2 市民一人ひとりに利用しやすい図書館
- 3 0 歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館
- 4 自らの変革を進める図書館

## 平成28年度仙台市図書館事業計画目次

### 方向性1 地域や市民に役立つ図書館

- (1) 課題解決に取り組む市民を応援します ..... 1
  - 【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集保存提供】
  - 【レファレンス機能の充実】
  - 【課題解決型情報支援サービスの充実】
  - 【地域の専門機関との連携】
- (2) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を進めます ..... 1
  - 【電子情報の整備・充実 デジタル環境への対応】
  - 【紙媒体と電子媒体との両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】
  - 【様々なネットワークへの参加・連携】
- (3) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます ..... 2
  - 【地域情報の蓄積・継承・発信】
  - 【市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信】
- (4) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます ..... 2
  - 【市内大学図書館との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】

### 方向性2 市民一人ひとりに利用しやすい図書館

- (1) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします ..... 3
  - 【高齢者サービスの充実】
  - 【障害のある人へのサービスの充実】
  - 【外国人が使いやすいサービスの充実】
- (2) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします ..... 3
  - 【市民センターでの図書サービスの拡充】
  - 【移動図書館サービスの再編・整理】

### 方向性3 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館

- (1)子どもの年齢に応じた図書サービスを提供します ..... 4
  - 【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】
  - 【小学生、中学生、高校生等年齢に応じた読書支援サービスの拡大】
- (2)障害のある子どもの状況に合った図書サービスを提供します ..... 4
  - 【障害のある子どもたちの読書を助ける資料の収集、機器の設置】
  - 【市内特別支援学校等への資料貸出の充実】
- (3)子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます ..... 4
  - 【市内の保育所、幼稚園、児童館などの職員とボランティアの支援】
  - 【子供図書室等で活動する、中高生による図書館サポーターの育成】
- (4)子ども読書を進めるために家庭、地域、学校などとの連携を深めます ..... 5
  - 【学校との連携の強化、協働による事業の充実】
  - 【地域施設・ボランティアと連携・協働しての読書力向上】
  - 【子供図書室を核とした、子ども読書を進めるための連携】

### 方向性4 自らの変革を進める図書館

- (1)仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います ..... 6
  - 【計画的な資料の収集、保存、活用／資料収蔵方針の作成と収蔵スペースの確保】
- (2)図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます ..... 6
  - 【図書館サービスの広報、図書館像の共有】
  - 【市民が参画する読書・情報活動の支援、市民との協働によるこれからの図書館づくり】
- (3)図書館資源を適正に配分し有効に活用します ..... 6
  - 【システムやサービスのあり方の見直し】
  - 【ICタグの計画的な導入】
- (4)図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います ..... 6
  - 【新たな評価方法の導入／市民による評価や意見の活用】
- (5)図書館職員の資質の向上に努めます ..... 7
  - 【障害者サービス、児童サービスなどのスキルアップ】
  - 【専門性と経営能力を備えた職員の養成】

- 用語解説 ..... 8

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館

施策 (1)課題解決に取り組む市民を応援します

平成28年度事業内容

【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集保存提供】

- ・特設コーナーの利用状況やレファレンス※の状況を勘案しながら、選定会議・調整会議の開催により様々な課題解決に役立つ資料の充実を図る。
- ・図書館資料(一般書、児童書、視聴覚資料)を紹介する刊行物を発行する。
- ・図書資料及び視聴覚資料のテーマ別展示を行う。
- ・庁内外関係機関等を通じた東日本大震災関連資料や情報の収集と閲覧・貸出を行う。
- ・3.11震災文庫※及び各館震災コーナーの充実を図るとともに活用に努める。

【レファレンス機能の充実】

- ・庁内外関係機関を通して専門分野に関する資料や情報を収集し、レファレンスサービスに役立てる。
- ・問い合わせの多いテーマに関するパスファインダー※を作成・配布するとともにホームページで公開する。
- ・隔年で作成しているレファレンス事例集を配布し、レファレンスサービスの利用者への周知を図る。
- ・3.11震災文庫資料情報に係るホームページ掲載内容を充実する。
- ・収集・保存した震災関連資料の整理を進め、被災者等が必要とする情報に関するレファレンスサービスを実施する。
- ・国立国会図書館東日本大震災アーカイブシステム※に引き続き参加する。

【課題解決型情報支援サービスの充実】

- ・図書館ホームページのコンテンツ等の追加、見直しを行い、内容の充実を図る。

【地域の専門機関との連携】

- ・専門機関等と連携した情報展示コーナーを設置し、地域に関する情報の発信を行う。
- ・地域の専門機関と連携した市民向け講座・講演会、相談会を実施する。
- ・在仙の学術機関、民間企業、行政機関等に係る情報提供や相談窓口の紹介を行う。

施策 (2)情報化社会の進展に合った情報提供の充実を進めます

平成28年度事業内容

【電子情報の整備・充実 デジタル環境への対応】

- ・商用データベース※の閲覧等のサービスを行う。
- ・図書館内のインターネット環境の整備に向けた調査・検討を行う。
- ・電子書籍閲覧・貸出を実施している他都市の調査・検討を行う。

【紙媒体と電子媒体との両方に対応したハイブリッドレファレンスサービス※の提供】

- ・ホームページにレファレンス事例集を掲載する。
- ・国立国会図書館レファレンス協同データベース※へ事例の登録を行う。
- ・市民のためのデータベース等情報検索・活用講座を開催し、利用促進を図る。
- ・国立国会図書館が行っている図書館向けデジタル化資料送信サービス※の利用を検討する。

【様々なネットワークへの参加・連携】

- ・国立国会図書館総合目録ネットワーク※への参加について検討する。
- ・国立情報学研究所目録所在情報サービス※への参加について検討する。

<b>施策</b>	<b>(3)地域の創造性の継承・発展に取り組みます</b>
<b>平成28年度事業内容</b>	
<p><b>【地域情報の蓄積・継承・発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な地域資料を収集する。</li> <li>・デジタル化した和漢書・古地図等の館内閲覧を行う。</li> <li>・貴重郷土資料の電子化保存と公開・活用について検討する。</li> </ul> <p><b>【市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台に関する情報の収集・集積、展示、ホームページによる発信を行う。</li> <li>・観光・名産品など仙台に関する資料や情報のリスト、パスファインダーを作成し、館内配布やホームページで公開する。</li> <li>・仙台に本拠地を持つプロスポーツチームに関する情報の収集と展示コーナーを引き続き設置する。</li> </ul>	

<b>施策</b>	<b>(4)「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます</b>
<b>平成28年度事業内容</b>	
<p><b>【市内大学図書館との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学図書館との相互貸借、複写等に関する連携について促進を図る。</li> <li>・大学図書館と連携し利用促進及び人材育成等に向けた事業を行う。</li> </ul>	

**方向性 2 市民一人ひとりに利用しやすい図書館**

**施策 (1)誰もが使いやすい図書館サービスをめざします**

**平成28年度事業内容**

**【高齢者サービスの充実】**

- ・選定会議、調整会議等で調整のうえ、高齢者とその家族に関心の高い資料や大活字本資料※の充実を図る。
- ・高齢者にとって関心の高い分野をテーマとした資料展示や高齢者が参加しやすい行事を実施する。
- ・拡大読書器の利用を図るため積極的な広報を行う。

**【障害のある人へのサービスの充実】**

- ・視覚障害のある利用者向けに音声資料の収集・提供や対面による朗読サービスを行う。
- ・心身の障害等により来館が困難な利用者向けに郵送による貸出サービスを行う。
- ・デイジー(DAISY)資料※作成ボランティアや対面朗読ボランティア等、障害者サービスを支援する人材の育成・活用に努める。
- ・ホームページや様々な広報媒体を通して障害者サービスの積極的な広報を行う。
- ・障害者関連施設と連携して利用者のニーズを把握し、サービス充実のための方策を検討する。

**【外国人が使いやすいサービスの充実】**

- ・選定会議、調整会議等で調整のうえ、外国語資料の充実を図る。
- ・外国人向け図書館配布物等の充実を図る。
- ・外国人向け館内サイン等の作成について検討・実施する。
- ・サービスの充実に向け外国人の利用状況の把握に努める。

**施策 (2)どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします**

**平成28年度事業内容**

**【市民センターでの図書サービスの拡充】**

- ・団体貸出等既存制度の活用による市民センター図書室への支援を強化する。
- ・図書ボランティア等を対象とした研修を実施する。
- ・市民センターとの連携による図書サービス拡充方策について関係部署と協議・検討を行う。【新規】

**【移動図書館サービスの再編・整理】**

- ・利用状況や復興公営住宅の整備状況等を勘案し巡回コースを再編する。

方向性 3 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館

<b>施策</b>	<b>(1)子どもの年齢に応じた図書サービスを提供します</b>
<b>平成28年度事業内容</b>	
<p><b>【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児向けおはなし会等を実施する。</li> <li>・乳幼児及び保護者向け行事を実施する。</li> <li>・乳幼児の保護者向けブックリストを作成・配布するとともにホームページに掲載する。【拡充】</li> <li>・両親教室等を活用した啓発事業を関連部署と連携し実施する。</li> </ul> <p><b>【小学生、中学生、高校生等年齢に応じた読書支援サービスの拡大】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校及び高等学校の新1年生向け図書館利用案内を作成し配布する。</li> <li>・子どもの読書意欲を高める展示や行事を工夫するとともに、図書館で子どもたちが体験したり図書館職員と交流できる場を提供する。</li> <li>・新たに開設した中高生向けホームページでの情報発信の充実を図る。【拡充】</li> </ul>	

<b>施策</b>	<b>(2)障害のある子どもの状況に合った図書サービスを提供します</b>
<b>平成28年度事業内容</b>	
<p><b>【障害のある子どもたちの読書を助ける資料の収集、機器の設置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・触る絵本※や点字付き絵本、LLブック※等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料を収集する。</li> <li>・触る絵本等の関連資料所蔵リストの作成・配布と、ホームページ等での公開を行う。</li> <li>・マルチメディアデイジー(DAISY)※利用のための機器を継続して設置する。</li> <li>・手話を使ったおはなし会の実施など障害のある子どもたち向けのサービスを実施する。</li> </ul> <p><b>【市内特別支援学校等への資料貸出の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校等のニーズにあった資料を収集し貸出用資料の充実を図る。</li> <li>・市内特別支援学校の他、市立小・中学校の特別支援学級への案内と資料提供を行う。</li> <li>・利用校に対するアンケート調査を実施し、調査結果の分析に基づく改善に取り組む。</li> </ul>	

<b>施策</b>	<b>(3)子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます</b>
<b>平成28年度事業内容</b>	
<p><b>【市内の保育所、幼稚園、児童館などの職員とボランティアの支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども読書支援パック※」や大型絵本等、おはなし会や行事等活動に必要な貸出用資料の充実と積極的な広報を行う。</li> <li>・児童館等職員、ボランティアからの資料相談等へ積極的に対応する。</li> <li>・児童館等主催の子ども読書に関する講座等へ図書館職員を派遣する。</li> </ul> <p><b>【子供図書室等で活動する、中高生による図書館サポーター※の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生への読書支援を目的として、中高生による同世代に向けた読書情報チラシの作成と情報の発信を行う。</li> <li>・中高生図書館サポーターの募集や育成を行い、図書館実務体験や読み聞かせ体験など、各種活動の支援を行う。</li> <li>・中高生図書館サポーターによる中高生向け企画や展示等を実施する。</li> <li>・中高生図書館サポーター育成のため、中学校や高校の教諭および学校司書等と連携を図る。</li> </ul>	



**施策****(4)子ども読書を進めるために家庭、地域、学校などとの連携を深めます****平成28年度事業内容****【学校との連携の強化、協働による事業の充実】**

- ・パッケージ貸出※や学校貸出※のための資料の充実により貸出強化を図る。
- ・防災教育に役立てるため、震災関連資料をパッケージした貸出サービスを実施する。
- ・図書館職員、ブックトーク※ボランティアによるブックトークを実施する。
- ・ブックトークボランティアの養成講座、ステップアップ講座を実施する。
- ・子どもの本の案内等の図書館発行物による学校への情報提供を行う。
- ・公共図書館利用学習を支援する。
- ・学校連携事業の利用状況調査及びアンケートを実施し事業の充実を図る。
- ・学校連携事業を推進するため、小学校及び中学校の教育研究会学校図書館部会と情報交換を行う。
- ・職場体験学習の受け入れなど自分づくり教育への図書館の関わりについて積極的に情報発信する。

**【地域施設・ボランティアと連携・協働しての読書力向上】**

- ・子ども読書支援パック等の貸出により地域施設やボランティア等に対する支援を強化する。
- ・職員やボランティアに対する研修や講座を実施する。
- ・ボランティアに対し、活動の場の提供と他の団体に関する情報の提供を行う。
- ・地域施設やボランティアと連携して子ども読書活動推進のための行事を実施する。
- ・文庫活動支援のため、貸出資料の充実と資料選定に関する情報提供を行う。

**【子供図書室を核とした、子ども読書を進めるための連携】**

- ・図書館全館において、春・秋の子ども読書フェスティバルを活用し、子どもの年齢に応じたおすすめ資料やテーマ別資料の企画展示により、家庭・地域への情報提供等を行う。
- ・児童文学者講演会を実施し、子ども読書活動を推進する。
- ・子育て支援施設「のびすく泉中央」との連携事業を継続して実施し、図書館利用の拡大を図る。

方向性 4 自らの変革を進める図書館

施策 (1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います

平成28年度事業内容

【計画的な資料の収集、保存、活用／資料収蔵方針の作成と収蔵スペースの確保】

- ・利用者ニーズを把握し、特定の分野に偏ることなく、公平性、有効性を考慮し、可能な限り幅広く資料を収集する。
- ・書庫資料の除籍作業を計画的に実施するとともに、複数所蔵している資料については全館的に調整し分担保存を進める。
- ・学校及び保育所等の資料充実のため、除籍した児童書の有効活用を図る。
- ・除籍した一般書・雑誌の有効活用を強化するため、譲渡対象施設・団体の拡大及び実施方法について検討する。【新規】
- ・資料の保存スペースとして、空き教室の利用について検討する。【新規】

施策 (2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます

平成28年度事業内容

【図書館サービスの広報、図書館像の共有】

- ・マスコミ等へ積極的な広報を行う。
- ・区民まつり、文化センターまつり等に参加し、図書館サービスについて情報発信する。
- ・図書館事業報告書のダイジェスト版の作成など、図書館事業の広報を工夫する。
- ・ホームページでの図書館だよりの発信について検討する。
- ・ツイッター等SNSによる情報発信について調査・検討する。【新規】

【市民が参画する読書・情報活動の支援、市民との協働によるこれからの図書館づくり】

- ・図書館で活動するボランティアを対象とした研修を実施する。
- ・ビブリオバトル<sup>※</sup>などを市民との協働事業として実施する。
- ・大人向けの読書行事の広報を行い、市民の読書活動の充実を図る。

施策 (3) 図書館資源を適正に配分し有効に活用します

平成28年度事業内容

【システムやサービスのあり方の見直し】

- ・図書館コンピュータシステムの更新に向けシステム開発を行う。
- ・図書館サービス評価を踏まえた業務の見直しを行う。
- ・榴岡図書館の指定管理者の公募、選定を行う。
- ・若林図書館の指定管理者による運営について検証を進める。

【ICタグ<sup>※</sup>の計画的な導入】

- ・ICタグ未導入館への導入について費用対効果を踏まえた検討を行う。

施策 (4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います

平成28年度事業内容

【新たな評価方法の導入／市民による評価や意見の活用】

- ・図書館協議会等による評価を取り入れサービスの充実を図る。
- ・図書館全館で利用者アンケート調査、及び利用者懇談会を継続実施する。

<b>施策</b>	<b>(5)図書館職員の資質の向上に努めます</b>
-----------	----------------------------

<b>平成28年度事業内容</b>
-------------------

<b>【障害者サービス、児童サービスなどのスキルアップ】</b>
----------------------------------

- ・障害者向けサービスや児童サービスに関する継続的・計画的な職員研修を実施する。
- ・障害者向けサービスや児童サービスに関する専門的知識を身につけるため他機関の実施する研修へ参加する。

<b>【専門性と経営能力を備えた職員の養成】</b>
----------------------------

- ・専門機関等の実施する研修へ参加する。

## ICタグ

ICチップ(パッケージされた半導体集積回路)と小型アンテナを埋め込み、電波により情報の読み書きを行うことができる技術。容器等に入っている読み取りや書き換えも可能であるため、資料に貼付・入力することで、無断持ち出しの抑制や蔵書点検期間の短縮等が期待できる。

## LLブック

知的障害や自閉症の人などに向けて、イラストや絵文字等を使って分かり易く読み易いように編集された本。LLとは、スウェーデン語のLätt Lästの略語で、「やさしく読める」という意味。

## 学校貸出

小・中学校向けに、教科指導等で活用できる本などを100冊まで貸出すること。

## 国立国会図書館総合目録ネットワーク

国立国会図書館による、県域を越えた公共図書館の和図書の総合目録ネットワーク。

## 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ

国立国会図書館が総務省と協力して、国立国会図書館東日本大震災アーカイブシステムを構築したものの。国立国会図書館東日本アーカイブは関連機関と連携して震災の記録等を分担収拾・保存し、国内外に発信することを目的としている。

## 国立国会図書館レファレンス協同データベース

国立国会図書館が、全国の公共図書館・大学図書館・専門図書館等と協同で構築しているデータベース。一般の方々の情報探索、図書館員のレファレンス業務に役立つような情報を参加館が日々登録・更新・蓄積している。

## 国立情報学研究所目録所在情報サービス

国立情報学研究所が行っているサービスで、参加する図書館が所蔵する資料の書誌情報と所在情報をオンラインでデータベース化し、所在情報データベースを利用して、それぞれの図書館が自館で所蔵していない資料を相互に提供する「図書館間相互協力」を迅速に実施するもの。

## 子ども読書支援パック

子供読書活動の推進に関わる活動を行っている施設、団体、個人向けに貸し出すため、絵本や紙芝居などを5～50点程度まとめたもの。

## 触る絵本

視覚障害児用の絵本で、触素材をページに貼り付けるなどして絵を構成し、絵が触って分かるようにしたもの。

## 3.11震災文庫

仙台市民図書館では、東日本大震災に係る被災状況について後世に伝えるとともに、震災からの復興や生活再建を支援するため、「3.11文庫」として、関連する様々な資料を収集し、閲覧、貸出を行っている。

## 商用データベース

データベースとは、事典や新聞記事など大量のデータを集めて整理・統合し、検索などをしやすくしたもの。企業などが開発・販売し、インターネット等で提供されるものが商用データベースであり、制作者によって常に管理・更新され信頼性が高い。

## 大活字本資料

一般に刊行されている図書の文字サイズでは読みにくい人のために、大きな活字で印刷された図書。

## 中高生による図書館サポーター

中学生、高校生への読書支援を目的として、同世代に向けた情報の発信を行う中学生、高校生ボランティアのこと。

## **デイジー(DAISY)資料**

視覚障害者や普通の印刷物を読むのが困難な人々のための、カセットに代わるデジタル録音図書。見出しからすぐに必要な情報が探せるなど、情報検索に優れている。

## **図書館向けデジタル化資料送信サービス**

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、公共図書館・大学図書館等にデジタル画像を送信し、各図書館で画像の閲覧等ができるようになるサービス。

## **ハイブリッドレファレンスサービス**

紙の図書資料のみではなく、電子資料やインターネット情報等、複数の手段で利用者が求める資料や情報を提供あるいは提供する手助けをするサービス。

## **パスファインダー**

特定のトピックやテーマ(主題)に関する資料や情報を収集する際に、図書館が提供できる関連資料の探し方が一覧できる案内。

## **パッケージ貸出**

小・中学校向けに、需要が高い資料(朝読書用パッケージ120冊、テーマ別パッケージ40冊)をまとめたパックを作り、申し込みに応じてパックごと貸出をすること。

## **ビブリオバトル**

他の人にすすめたい本を紹介し合い、どの本が一番読みたくなったかを参加者が投票しチャンプ本を決める、「知的書評合戦」といわれるイベントのこと。

## **ブックトーク**

あるテーマに沿って、さまざまな種類の本を順序だてて紹介すること。子どもと本をむすびつけるのに効果的な手法のひとつ。

## **マルチメディアデイジー(DAISY)**

音声に合わせて、その部分の文字や画像と一緒に画面に表示されるデジタル録音図書。音声のみのデイジー(DAISY)よりわかりやすい。

## **レファレンス**

利用者が求める資料や情報を提供あるいは提供する手助けをすること。レファレンスサービスとも言う。